



次世代日本研究者 協働研究ワークショップ

目的 “ネットワークを構築し、協働研究を実践する力を養う”

「日本研究」—社会が多様化する現代において、その意味するところは多岐にわたります。これからの日本研究の未来を担う人材には、様々な立場を踏まえて、複眼的に日本をみつめる視座が必要です。そこで国際交流基金は、異なる国や地域において、様々な分野を研究する、バックグラウンドの異なった「次世代日本研究者」である大学院生を日本へ招へいし、ネットワーク構築の機会を提供します。同時に、ネットワークを生かした研究活動を推進するため、協働研究発表に関する実践的なワークショップを実施します。

実施概要

日程 2019年2月11日(月)～2月19日(火)
場所 国際交流基金本部(新宿・四ツ谷)他 都内
言語 日本語及び英語
支給 往復航空賃(エコノミー)、日本国内交通費、
日本国内滞在費
協力 プログラム統轄
東京大学東洋文化研究所 園田茂人教授

プログラム内容例(詳細別紙)

- グループワーク :シニア研究者の指導を受け
グループでパネル研究の模擬発表
- キャリアセッション:国際的に活躍する日本研究者
による座談会
- サイトビジット :日本国内の大学や研究所の訪問
学生・教員との交流

参加条件

以下の全ての条件を全て満たす必要があります。

- 35歳以下の博士課程在籍中の大学院生(博士論文執筆前)、
もしくは修士課程在籍中で博士課程進学が決まっている者
- 日本語・英語両言語で講義の受講や発表等コミュニケーションが可能な者
目安:日本語 N2レベル、
英語 TOEIC800点・TOEFLibt90点 程度 (TOEIC900点、TOEFLibt100点以上が望ましい)
- 他国・他分野の研究者とネットワークを広げ、研究者として活躍する意思のある者
- 国際交流基金が指定する機関に所属し、
当該機関から①研究者としての将来性、②語学力を含むコミュニケーション能力、に鑑みて推薦を受けられる者
- 全日程プログラムに参加できる者

応募方法

- ①所属機関からの推薦書:英語もしくは日本語で所定の書式に記入、直筆サイン、PDF形式
- ②参加希望学生による応募用紙:日本語で所定の書式に記入、Microsoft Word形式
- ③参加希望学生のパスポートコピー:PDF形式

以上3点を、12月5日までに、国際交流基金北京日本文化センターへ E-mail (huang_haicun@jpfbj.cn) で提出してください。

採否結果については、12月中にお知らせする予定です。